

第2回日本服薬支援研究会/
第14回 旧簡易懸濁法研究会 総会

資 料

日時:2021年10月3日(日) 15:35～16:00

ZoomによるWeb会議

第2回日本服薬支援研究会/第14回旧簡易懸濁法研究会 総会

司会 青木幹事

1. 議 事

ア. 報 告 事 項

担 当

2020年度事業報告

新井副代表幹事

2020年度会計収支報告

座間味幹事

2020年度会計収支監査報告

宮本幹事

役員

世良幹事

研究会規則改正

石田副代表幹事

イ. 議 案

2021年度事業計画案

新井副代表幹事

2021年度事業予算案

座間味幹事

2. 簡易懸濁可否情報共有システム新規登録者 表彰 世良幹事

ア. 報 告 事 項

2020 年度(2020 年 7 月～2021 年 6 月) 事業報告

[I] 講演会・実技セミナー

2020 年

- 1) 第 2 回日本服薬支援研究会/第 14 回簡易懸濁法研究会学術大会・総会 2020 年 8 月 29 日・30 日(中止)→ 総会をメール会議で開催 2020 年 9 月 14 日～9 月 19 日
- 2) 日本服薬支援研究会 2020 年 Web 特別講演会
日時:2020 年 9 月 19(土)19:00～21:00 場所: Zoom による Web ライブ配信
内容:「簡易懸濁法に関する新たな 3 つの話題」、「栄養療法において薬剤師が期待されるお仕事のポイント」
- 3) 目からウロコが落ちる勉強会シリーズ第 29 弾(WEB 開催)
日時:2020 年 10 月 22(木)17:50～19:30 場所:Zoom による Web ライブ配信
内容:「服薬のハードルを越えるためにー運動障害、嚥下障害の場合ー」
- 4) 日本服薬支援研究会 賛助会員様を対象とした簡易懸濁法 Web 実技セミナー
日時:2020 年 12 月 5(土)13:00～15:00 場所:Zoom によるオンライン開催

2021 年

- 5) 日本服薬支援研究会 第 1 回 簡易懸濁法 Web 実技セミナー
日時:2021 年 2 月 23 日(火・祝)10:00～15:30 場所:Zoom によるオンライン開催
- 6) 目からウロコが落ちる勉強会シリーズ第 30 弾(WEB 開催)
日時:2021 年 4 月 15 日(木)17:50～19:30 場所:Zoom によるオンライン開催
内容:「超高齢社会における嚥下障害 ー疫学、診断、対応ー」他
- 7) 日本服薬支援研究会 第 2 回 簡易懸濁法 Web 実技セミナー
日時:2021 年 5 月 23 日(日)10:00～15:30 場所:Zoom によるオンライン開催

[II] 会誌発行

- 1) Vol.8, No.1(2020 年 8 月)、Vol.8, No.2(2020 年 12 月)
- 2) 論文投稿先の変更 業務代行業者が毎日学術フォーラムからアクセライトへの移管に伴い、服薬支援研究会の会誌委員会のアドレスに変更

[III]調剤と情報 連載

- 1) 月刊誌「調剤と情報」じほう社、「現場の困った！ にエキスパートが答える Q&A 簡易懸濁法」、2019 年 11 月～毎月連載を継続 (研究会会誌とともに別冊を会員へ送付)

[IV] 簡易懸濁法認定薬剤師・指導薬剤師

- 1) 簡易懸濁法認定薬剤師 4 名認定 2020 年 12 月
- 2) 簡易懸濁法認定薬剤師 2 名更新 2020 年 12 月
- 3) 簡易懸濁法指導薬剤師 5 名更新 2020 年 12 月

[V] 研究会事務代行先変更

株式会社毎日学術フォーラム → 株式会社アクセライト 2021 年 4 月 1 日

[VI] 日本薬剤師研修センター:研修認定薬剤師制度における研修実施機関としての本研究会の認定

2021 年 10 月末から運用予定の薬剤師研修・認定電子システム(PECS)による

集合研修の研修実施機関としての認定を 2021 年 6 月に申請、8 月に取得

[VII] 内服薬経管投与ハンドブック第 4 版、じほう社 会員特別価格で販売 (2021 年 6 月末日まで)

2020年度 日本服薬支援研究会 収支報告書

(2020年7月1日～2021年6月30日)

【収入の部】

(単位:円)

勘定科目		2020年度	2020年度	差 異	摘 要
大科目	小科目	予 算 額	決 算 額		
会費収入		4,629,000	5,561,000	932,000	
	正 会 員会費	3,175,000	4,003,000	828,000	5,000円×800件(当年度722件、過年度73件、前受金5件)、3,000円×1件(種別変更追加金)
	学生会員会費	4,000	8,000	4,000	2,000円×4件(当年度3件、過年度1件)
	賛助会員会費	1,450,000	1,550,000	100,000	50,000円×31口(当年度30口、前年度1口)
事業収入		660,000	786,000	126,000	
	講演会費	180,000	200,000	20,000	Web特別講演会:会員1,000円×134名、非会員2,000円×33名
	学術大会・総会費	0	0	0	
	実技研修会費	425,000	526,000	101,000	賛助会員向けWeb実技セミナー:5,000円×3 第1回Web実技セミナー:会員5000円×37名、非会員11000円×1名、入会希望参加費6000円×9名 第2回Web実技セミナー:会員6000円×20名、非会員11000円×5名、入会希望参加費6000円×6名 セミナー資料代:1000円×50名
	認定事業費	55,000	60,000	5,000	認定薬剤師申請料5000円×12名
その他収入		0	8,777	8,777	2020年度 事務局引継ぎ調整費
当期収入合計(A)		5,289,000	6,355,777	1,066,777	
前期繰越収支差額		5,773,789	5,773,789	0	
収入合計(B)		11,062,789	12,129,566	1,066,777	

【支出の部】

勘定科目		2020年度	2020年度	差 異	
大科目	小科目	予 算 額	決 算 額		
事業費支出		1,592,290	688,672	-903,618	
	講演会費	245,640	135,840	-109,800	交通費、会議飲食費、講師謝金
	学術大会・総会費	30,000	0	-30,000	
	実技研修会費	442,650	262,940	-179,710	賛助会員向けWeb実技セミナー:謝金、第1回Web実技セミナー:謝金、交通費、Zoom契約費、事前打合せ費、第2回Web実技セミナー:Zoom契約費、事前打合せ費、セミナー薬品・器具代:800円×109名、研修シール代
	認定事業費	10,000	25,892	15,892	認定試験:交通費、謝金、認定証作成費
	簡易懸濁可否情報 共有システム保守費	264,000	264,000	0	月額22,000円(12ヶ月分)
	ホームページ改修費用	600,000	0	-600,000	
管理費支出		3,700,840	2,953,560	-747,280	
	幹事会・委員会費	650,000	438,570	-211,430	Web幹事会(14回)・Web臨時幹事会(2回)・Web臨時会議(2回)・Web生涯教育委員会(10回)・Web実技セミナー検討委員会(5回)・Web会議がんくア部門(1回):日当、Zoom契約料
	事務消耗品費	535,000	466,353	-68,647	会報制作(1回)、コピー代等
	通信費	618,840	318,613	-300,227	後納郵便代、宅急便代、メール便代、切手代
	人件費	1,737,000	1,593,103	-143,897	毎日学術フォーラム事務委託料(会員・庶務・会計業務)、作業委託料
	租税公課	30,000	47,523	17,523	源泉税
	原稿料	30,000	5,000	-25,000	原稿執筆料(図書カード)
	雑費	100,000	84,398	-15,602	振込手数料、ピーティックス販売手数料、研修実施機関認定申請費
予備費支出	予備費	2,100,000	761,780	-1,338,220	「調剤と情報」別冊購入費(14回分)、「経管投与ハンドブック第4版」特別割引半額負担費(221冊分)
その他支出		0	0	0	
当期支出合計(C)		7,393,130	4,404,012	-2,989,118	
当期収支差額(A)-(C)		-2,104,130	1,951,765	4,055,895	
次期繰越収支差額(B)-(C)		3,669,659	7,225,554	4,055,895	

2020年度 日本服薬支援研究会 収支報告書

(2020年7月1日～2021年6月30日)

【収入の部】

(単位:円)

勘定科目		2020年度	2020年度	差 異	摘 要
大科目	小科目	予 算 額	決 算 額		
会費収入		4,629,000	5,561,000	932,000	
	正 会 員会費	3,175,000	4,003,000	828,000	5,000円×800件(当年度722件、過年度73件、前受金5件)、3,000円×1件(種別変更追加金)
	学生会員会費	4,000	8,000	4,000	2,000円×4件(当年度3件、過年度1件)
	賛助会員会費	1,450,000	1,550,000	100,000	50,000円×31口(当年度30口、前年度1口)
事業収入		660,000	786,000	126,000	
	講演会費	180,000	200,000	20,000	Web特別講演会:会員1,000円×134名、非会員2,000円×33名
	学術大会・総会費	0	0	0	
	実技研修会費	425,000	526,000	101,000	賛助会員向けWeb実技セミナー:5,000円×3 第1回Web実技セミナー:会員5000円×37名、非会員11000円×1名、入会希望参加費6000円×9名 第2回Web実技セミナー:会員6000円×20名、非会員11000円×5名、入会希望参加費6000円×6名 セミナー資料代:1000円×50名
	認定事業費	55,000	60,000	5,000	認定薬剤師申請料5000円×12名
その他収入		0	8,777	8,777	2020年度 事務局引継ぎ調整費
当期収入合計(A)		5,289,000	6,355,777	1,066,777	
前期繰越収支差額		5,773,789	5,773,789	0	
収入合計(B)		11,062,789	12,129,566	1,066,777	

【支出の部】

勘定科目		2020年度	2020年度	差 異	摘 要
大科目	小科目	予 算 額	決 算 額		
事業費支出		1,592,290	688,672	-903,618	
	講演会費	245,640	135,840	-109,800	交通費、会議飲食費、講師謝金
	学術大会・総会費	30,000	0	-30,000	
	実技研修会費	442,650	262,940	-179,710	賛助会員向けWeb実技セミナー:謝金、第1回Web実技セミナー:謝金、交通費、Zoom契約費、事前打合せ費、第2回Web実技セミナー:Zoom契約費、事前打合せ費、セミナー薬品・器具代:800円×109名、研修シール代
	認定事業費	10,000	25,892	15,892	認定試験:交通費、謝金、認定証作成費
	簡易懸濁可否情報 共有システム保守費	264,000	264,000	0	月額22,000円(12ヶ月分)
管理費支出	ホームページ改修費用	600,000	0	-600,000	
		3,700,840	2,953,560	-747,280	
	幹事会・委員会費	650,000	438,570	-211,430	Web幹事会(14回)・Web臨時幹事会(2回)・Web臨時会議(2回)・Web生涯教育委員会(10回)・Web実技セミナー検討委員会(5回)・Web会議がんく部門(1回):日当、Zoom契約料
	事務消耗品費	535,000	466,353	-68,647	会報制作(1回)、コピー代等
	通信費	618,840	318,613	-300,227	後納郵便代、宅急便代、メール便代、切手代
	人件費	1,737,000	1,593,103	-143,897	毎日学術フォーラム事務委託料(会員・庶務・会計業務)、作業委託料
	租税公課	30,000	47,523	17,523	源泉税
	原稿料	30,000	5,000	-25,000	原稿執筆料(図書カード)
予備費支出	雑費	100,000	84,398	-15,602	振込手数料、ピーティックス販売手数料、研修実施機関認定申請費
	予備費	2,100,000	761,780	-1,338,220	「調剤と情報」別冊購入費(14回分)、「経管投与ハンドブック第4版」特別割引半額負担費(221冊分)
その他支出		0	0	0	
当期支出合計(C)		7,393,130	4,404,012	-2,989,118	
当期収支差額(A)-(C)		-2,104,130	1,951,765	4,055,895	
次期繰越収支差額(B)-(C)		3,669,659	7,725,554	4,055,895	

上記収支報告書について監査した結果、適当と認めます。

2021 年 9 月 23 日

会計監事

7

宮本悦子



2020年度 日本服薬支援研究会 収支報告書

(2020年7月1日～2021年6月30日)

【収入の部】

(単位:円)

勘定科目		2020年度	2020年度	差 異	摘 要
大科目	小科目	予 算 額	決 算 額		
会費収入		4,629,000	5,561,000	932,000	
	正 会 員 会 費	3,175,000	4,003,000	828,000	5,000円×800件(当年度722件、過年度73件、前受金5件)、3,000円×1件(種別変更追加金)
	学生会員会費	4,000	8,000	4,000	2,000円×4件(当年度3件、過年度1件)
	賛助会員会費	1,450,000	1,550,000	100,000	50,000円×31口(当年度30口、前年度1口)
事業収入		660,000	786,000	126,000	
	講演会費	180,000	200,000	20,000	Web特別講演会:会員1,000円×134名、非会員2,000円×33名
	学術大会・総会費	0	0	0	
	実技研修会費	425,000	526,000	101,000	賛助会員向けWeb実技セミナー:5,000円×3 第1回Web実技セミナー:会員5000円×37名、非会員11000円×1名、入会希望参加費6000円×9名 第2回Web実技セミナー:会員6000円×20名、非会員11000円×5名、入会希望参加費6000円×6名 セミナー資料代:1000円×50名
	認定事業費	55,000	60,000	5,000	認定薬剤師申請料5000円×12名
その他収入		0	8,777	8,777	2020年度 事務局引継ぎ調整費
当期収入合計(A)		5,289,000	6,355,777	1,066,777	
前期繰越収支差額		5,773,789	5,773,789	0	
収入合計(B)		11,062,789	12,129,566	1,066,777	

【支出の部】

勘定科目		2020年度	2020年度	差 異	摘 要
大科目	小科目	予 算 額	決 算 額		
事業費支出		1,592,290	688,672	-903,618	
	講演会費	245,640	135,840	-109,800	交通費、会議飲食費、講師謝金
	学術大会・総会費	30,000	0	-30,000	
	実技研修会費	442,650	262,940	-179,710	賛助会員向けWeb実技セミナー:謝金、第1回Web実技セミナー:謝金、交通費、Zoom契約費、事前打合せ費、第2回Web実技セミナー:Zoom契約費、事前打合せ費、セミナー薬品・器具代:800円×109名、研修シール代
	認定事業費	10,000	25,892	15,892	認定試験:交通費、謝金、認定証作成費
	簡易懸濁可否情報 共有システム保守費	264,000	264,000	0	月額22,000円(12ヶ月分)
	ホームページ改修費用	600,000	0	-600,000	
管理費支出		3,700,840	2,953,560	-747,280	
	幹事会・委員会費	650,000	438,570	-211,430	Web幹事会(14回)・Web臨時幹事会(2回)・Web臨時会議(2回)・Web生涯教育委員会(10回)・Web実技セミナー検討委員会(5回)・Web会議がんくア部門(1回):日当、Zoom契約料
	事務消耗品費	535,000	466,353	-68,647	会報制作(1回)、コピー代等
	通信費	618,840	318,613	-300,227	後納郵便代、宅急便代、メール便代、切手代
	人件費	1,737,000	1,593,103	-143,897	毎日学術フォーラム事務委託料(会員・庶務・会計業務)、作業委託料
	租税公課	30,000	47,523	17,523	源泉税
	原稿料	30,000	5,000	-25,000	原稿執筆料(図書カード)
	雑費	100,000	84,398	-15,602	振込手数料、ピーティックス販売手数料、研修実施機関認定申請費
	予備費支出	2,100,000	761,780	-1,338,220	「調剤と情報」別冊購入費(14回分)、「経管投与ハンドブック第4版」特別割引半額負担費(221冊分)
	その他支出	0	0	0	
当期支出合計(C)		7,393,130	4,404,012	-2,989,118	
当期収支差額(A)-(C)		-2,104,130	1,951,765	4,055,895	
次期繰越収支差額(B)-(C)		3,669,659	7,725,554	4,055,895	

上記収支報告書について監査した結果、適当と認めます。

令和 3 年 9 月 30 日

会計監事

西園憲郎



2021 年度 日本服薬支援研究会（旧簡易懸濁法研究会）役員

- | | | |
|----------|---------------------|--------------|
| 1. 代表幹事 | 昭和大学薬学部 | 倉田 なおみ |
| 2. 副代表幹事 | 大洗海岸病院薬剤部 | 新井 克明 |
| | 徳島文理大学薬学部 | 石田 志朗 |
| 3. 幹事 | （特非）健康環境教育の会 | 宮本 悦子 |
| | 吉備高原ルミエール病院薬剤科 | 安藤 哲信 |
| | 有隣病院薬剤科 | 近藤 幸男 |
| | 兵庫医療大学薬学部 | 天野 学 |
| | フローラ薬局 | 篠原 久仁子 |
| | 東京薬科大学薬学部 | 秋山 滋男 |
| | 霧島市立医師会医療センター薬剤部 | 岸本 真 |
| | 岡山大学病院薬剤部 | 座間味 義人（所属変更） |
| | 武蔵野大学薬学部 | 世良 庄司 |
| | 岐阜薬科大学 | 寺町 ひとみ |
| | 東京医科大学八王子医療センター薬剤部 | 輿石 徹 |
| | 済生会横浜市南部病院入退院支援センター | 飯田 純一 |
| | 北里大学薬学部 | 青木 学一 |
| | 昭和大学薬学部 | 熊木 良太 |
| | 兵庫医療大学薬学部 | 橋本 佳奈 |
| | 岡山大学病院薬剤部 | 久保 和子（新幹事） |
| | 金沢医科大学附属病院薬剤部 | 中田 いちこ（新幹事） |
| 4. 顧問 | 益田赤十字病院薬剤部 | 西園 憲郎 |
| | 鳴門山上病院薬剤科 | 賀勢 泰子 |
| | 徳島文理大学薬学部名誉教授 | 岡野 善郎 |
| | 千葉西総合病院薬剤科 | 小茂田 昌代 |
| | 和泉市立総合医療センター薬剤部 | 藤原 琴 |
| 5. 事務局 | 株式会社アクセライト（新事務局） | |

2020年度 日本服薬支援研究会/旧簡易懸濁法研究会 組織

【部・委員会】担当幹事

1. 会計部 座間味義人、安藤哲信、世良庄司、久保和子（新幹事）
2. 総務部 石田志朗、近藤幸男、新井克明、青木学一、熊木良太
・規律委員会 近藤幸男、安藤哲信、世良庄司、倉田なおみ
3. 広報部 ・会誌委員会 秋山滋男、岸本 真、寺町ひとみ、
 中田いちこ（新幹事）
・HP 委員会 世良庄司
4. 学術部 ・学術集会委員会 学会開催地幹事、総務部
・学会レポーター係り 座間味義人
・調査研究委員会 新井克明、秋山滋男、世良庄司、
 輿石 徹（技術マニュアル）、
 宮本悦子（Q&A）
5. 生涯教育部 近藤幸男
・実技セミナー検討委員会 熊木良太、橋本佳奈、秋山滋男、
 新井克明、岸本 真、石田志朗、
 倉田なおみ
・簡易懸濁法認定制度委員会（名称変更）
 青木学一、輿石 徹、篠原久仁子、
 飯田純一、近藤幸男
6. 会計監事 宮本悦子、西園憲郎
7. 事務局 世良庄司、株式会社アクセライト（移行）
 （東京都文京区本郷 3-5-4 朝日中山ビル 5 階）

アンダーライン：委員長

【部会】担当

1. 摂食・嚥下障害 近藤幸男、岸本 真、天野 学、石田志朗
2. 運動障害 岸本 真、篠原久仁子
3. 健康長寿 飯田純一、橋本佳奈
4. がんケア 青木学一、座間味義人、奥石 徹、
久保和子（新幹事）、小原道子（帝京平成大学薬学部、
岐阜薬科大学及びウエルシア HD 株式会社）
5. 医療安全 秋山滋男、宮本悦子、寺町ひとみ、安藤哲信、
新井克明、中田いちこ（新幹事）
6. 小児 熊木良太、原田 努（昭和大学薬学部）

アンダーライン：部会長

日本服薬支援研究会 会則

※ 赤字は、今回追加・訂正した部分

(総則・名称)

第1条 本会は日本服薬支援研究会と称する。

英名は、The Japan Association for Patient Support on Medication とする。

(目的)

第2条 本会は患者またはその看護に当たっている家族及び医療従事者に対する服薬支援を中心に、摂食・嚥下障害、運動障害、健康寿命、小児、高齢者、がんケア、医療安全等の分野において、薬を安全かつ効果的に投与することに関して研究し、その成果を普及させる。そして、患者の医薬品及び医療を主とした生活全般を支援することによりQOLの向上に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 本会は第2条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 研究会の開催など、簡易懸濁法の研究・普及を含む患者の服薬支援及び医薬品および医療に関連する生活支援に関する事業
- (2) 医療・介護現場における問題点の抽出、医療・介護施設及び研究機関(大学・企業など)との連携による研究
- (3) 医療・介護施設間の連携強化による服薬支援・生活支援実施の見学幹旋業務
- (4) 国内外関係学会との連携および国際交流
- (5) 機関誌その他刊行物の発行
- (6) その他、本会発展のために必要な事業

(構成・会員)

第4条 本会は本会の目的、事業に賛同し、所定の手続きを行った次の会員をもって構成する。

- (1) 一般会員：本研究会の目的に賛同する個人
 - (2) 学生会員：本研究会の目的に賛同する学部・大学院在学中の学生
なお、就職しての大学院生（社会人大学院生）は一般会員とする。
 - (3) 賛助会員：本研究会の目的に賛同し、本会の事業を援助する企業・団体または個人
2. 本会に入会を希望する者は申込用紙に必要事項を記入し、研究会事務局に届け出た者とする。以上の手続きを行い、役員の承認を得た上で会員細則に規定する会費を納入した者を会員とする。
 3. 会員の特典については、別途会員細則に規定する。
 4. その他、年会費、入会の期間、更新、休会、退会、再入会等については、別途細則に規定する。

(役員)

第5条 本会に次の役員をおく。

代表幹事 1名
副代表幹事 2名
幹事 若干名
会計監事 2名
事務局長 1名
顧問 若干名

第6条 役員の職務

代表幹事は本会を統括し、幹事会ならびに総会では議長となる。

2. 幹事は幹事会を構成し、学術研究会をはじめとする本会事業の運営方針を立案しこれを推進する。なお、会の効率よい運営のため、学術事業委員会、渉外広報委員会、財務委員会、総務委員会、生涯教育委員会に幹事若干名を置くこととする。
3. 会計監事は本会の会計を監査する。

第7条 役員の選出および任期

代表幹事は、幹事の互選により選出されるものとし、その任期は2年とするが再任は妨げない。

幹事は幹事会の推薦により選出されるものとし、その任期は2年とするが再任は妨げない。

第8条 幹事会

幹事会は必要に応じて開催するが、電子メールやWeb会議ツールを用いての会議も可能とする。

(部 会)

第9条

当研究会は、調査・研究等の学術事業の執行のために必要があるときは、各種の部会を設けることができる。

2. 各部会の部会長及び委員は、幹事会の承認を得て代表幹事が委嘱する。
3. 各部会の任務、構成及び運営に必要な事項は、幹事会の決議により別に定める。

(学術集会)

第10条

当研究会は、幹事会の決議を経て、学術集会を開催する。

2. 前項に規定する学術集会のほか、あらかじめ幹事会の決議を経たうえで、講演会、研究会等を開催することができる。
3. 学術集会開催にあたり、幹事会の決議をもって会員の中から学術集会大会長を選任する。
4. 学術集会大会長の任期は、前年の学術集会が終了した時から自らが主宰する学術集会が終了した時までとする。

(会計・会費)

第11条 本会の経費は会費・寄付金・その他の収入をもってこれに充てる。本会の収支決算書は会計年度終了後に事務局が作成し、会計監事の監査を受けた上で、幹事会の承認を得て会員に報告しなければならない。

2. 会員は会則細則に定める年会費を納める。会費は主として本会の運営に充当されるものとする。なお、会費は幹事会で議決し、決定するものとする。
3. 会計年度は毎年7月1日から6月30日までとする。

(事務局)

第12条 事務局は代表幹事のもとに、会員名簿の整理、会費の管理等研究会の運営に必要な諸事務をおこなう。
研究会事務局の所在地等は細則に示す。

(会則の変更)

第13条 会則の変更は幹事会の議を経て、会員に報告するものとする。

2. 幹事会は2/3以上の幹事の出席(委任状を含む)をもって成立し、出席者(委任状を含む)の過半数で議決される。

付則

本会則は、2019年6月1日から施行する。

細則、第3条、第3項を追加 2020年4月7日

会則の第4条及び細則の第条を改正、別途「会員細則」を設けた。 2020年9月9日

細則、第4条を変更 2021年4月1日

細則

第1条 本会の運営に必要な事項は、この細則に定める。

第2条 細則の立案及び修正は、会則第13条により幹事会が行う。

第3条 会則第4条に定める会員の特典、入会・期間・休会・退会・再入会および会費は別途「会員細則」により定める。

第4条 研究会事務局の所在地等

株式会社アクセライト内

東京都文京区本郷3-5-4 朝日中山ビル5F

E-mail:fukuyakushien-office@umin.ac.jp

日本服薬支援研究会 会員細則

※ 赤字は、今回追加・訂正した部分

(目的)

第1条 日本服薬支援研究会（以下、「本研究会」という）の会員に関する規程については、本学会の定款第4条に定める事項のほか、本細則の定めるところによる。

(構成・会員)

第2条 会員は、定款第4条に定める一般会員、学生会員及び賛助会員とする。

(会員の特典)

第3条 定款第4条に定める会員は、次の特典を有する。

全会員共通：

- (1) 講演会や簡易懸濁法実技セミナーなどへの会員向け参加費での参加
- (2) 会誌（年2回）の配布
- (3) 本研究会関連の刊行物の会員特別価格での購入
- (4) 簡易懸濁法可否情報共有システムの使用

一般会員・学生会員：

- (1) メーリングリストを利用した意見交換（疑問点・問題点の問い合わせ）
- (2) 簡易懸濁法認定薬剤師・指導薬剤師の申請資格
- (3) 簡易懸濁法に関する資料の入手

賛助会員：

- (1) 講演会や簡易懸濁法実技セミナーなどに、1口1名につき一般会員向け参加費での参加が可能
- (2) 講演会・大会での展示、パンフレット配布が可能
- (3) 会誌・大会要旨集などへの広告掲載募集の際には、優先権あり
- (4) 疑問点・問題点の問い合わせはできないが、メーリングリストを利用して服薬支援の情報入手が可能
- (5) 希望者には、本研究会のホームページへの企業・団体・個人名の記載と企業・団体のリンク掲載が可能
- (6) 賛助会員の製薬および医療機器企業から本研究会への簡易懸濁法実技セミナー開催の依頼において、実技セミナーに必要な医薬品・器材の実費および講師謝金・交通宿泊費を除き、開催の依頼時における申請手続き料（50,000円/回）は、回数を問わず無料

(会員の期間)

第4条 会員資格の年度は定款第11条3項に規定する会計年度と同様の7月1日から翌年6月30日までとする。

2. 年度途中で入会希望者の会員期間は、入会日より年度末の6月30日までとする。

(入会)

第5条 入会する者は、定款第4条に定めるほか、次の入会手続きをしなければならない。

- 2. 一般会員及び学生会員として入会を希望する者は、本研究会ホームページにおいて所定の情報を入力し登録すると共に、入会の承認後にゆうちょ銀行指定口座に会費を一括前納しなければならない。

3. 賛助会員として入会を希望する企業・団体は、本研究会事務局を通じて書面により所定の情報を登録し、入会の承認後にゆうちょ銀行指定口座に会費を前納しなければならない。
4. 入会承認後60日以内に本細則第7条の4に定める会費の納入が確認できない場合には、当該手続きを無効とする。

(入会日)

第6条 入会日は、前条の入会手続き及び学会事務局において会費の一括納入が確認された日からとする。

(会員資格の更新及び会費の納入)

第7条 会員資格を更新する場合は、原則として毎年7月1日から9月30日までの間に本年度分の会費を一括前納しなければならない。

2. 会員に郵送される会費の請求情報に基づき、郵便振替等の方法により本細則第7条4項に定める会費を納入しなければならない。
3. やむを得ず第1項で定めた期間内に会費を納入できなかった場合は、当該年度の6月30日までに会費納入が確認されれば、当該年度の会員資格が継続される。
4. 会費の年額は、次のとおりとする。
 - (1) 一般会員 5,000円
 - (2) 学生会員 2,000円
 - (3) 賛助会員(1口) 50,000円

(会員情報の変更)

第8条 会員は、自らの会員情報に変更が生じた場合に、速やかに本研究会事務局に電子メールにて連絡しなければならない。

(休会)

第9条 国外での勤務又は留学、産前産後・育児・介護に係る休業、病気療養による休暇等を理由として本研究会の活動ができない場合には、休会を届出ることができる。

2. 休会の届は、休会開始日の3ヶ月前までに別途定める休会届出書及び休会事由を証明する書類等を研究会事務局に提出し、本研究会役員の審議を経て受理されなければならない。ただし、急病や事故等により事前に届出ることができない場合には、休業又は休会を開始した日から3ヶ月以内に届出ることができる。
3. 休会の期間は、休会の開始日から3年以内に訪れる6月30日までとし、3年を限度とする。なお、当該限度内であれば、前項の手続きを経て休会の期間を延長することができる。
4. 休会期間中の会費の納入は免除される。ただし、当該期間中は全ての会員資格が停止し、会員名簿及び各認定者名簿から除外されるほか、会員として本研究会が主催する年会や講習会等への参加、雑誌等への投稿ができない。
5. 復会は、本研究会事務局に復会手続きの連絡をすると共に、復会する次年度の会費を納入しなければならない。また、受理された休会期間を短縮し、早期に復会することができる。
6. 休会期間の満了日までに前項の手続き及び納付が行われない場合には、休会の開始日の前日を以て退会とする。

7. 休会期間前後の会員歴及び認定資格歴を合算して、連続した歴と見なすことができる。ただし、休会期間中の歴を含めることはできない。
8. 各認定制度における休会の取り扱いについては、各認定制度で別に定める。

(退会)

- 第10条 退会は、定款第9条によるほか、本研究会事務局を通じて退会手続きをしなければならない。
2. 毎年9月30日の時点で2年間の会費が未納の場合には、前々年の6月30日を以て退会とする。
 3. 退会日が確定した日以降は、前3条の会員の特典が停止される。

(再入会)

- 第11条 本研究会を一旦退会した者及び前条第2項により退会となった者は、新たに入会手続きを経なければ会員になることができない。
2. 再入会する者は、入会手続き時に併せて次条の手続きをとることができる。
 3. 次条の手続きが完了した場合には、会費未納年度分に限り会員歴を復元することができる。
 4. 本細則第13条により除名となった者が再入会を希望する場合、その扱いは役員会で協議する。

(再入会の時の会費納入)

- 第12条 再入会の時の会費の納入は、未納年度分（最大2年分）とその年度分の年会費を納めなければならない。

(除名)

- 第13条 会員の除名処分は、該当する委員会及び役員会（幹事会）で協議する。

(本細則の改廃)

- 第14条 本細則の改廃は、役員会（幹事会）の決議をもって行う。

附則

本細則は、2020年10月1日より実施する。

制定：2020年9月9日

イ. 議 案

2021 年度(2021 年 7 月～2022 年 6 月)事業計画(案)

●年間行事予定

2021 年

- 8 月 1 日 簡易懸濁法 認定薬剤師・指導薬剤師 新規・更新 申請開始 (9 月末まで)
- 8 月 5 日 日本服薬支援研究会会誌 Vol. 9, No. 1 発行、研究会 2021 年度年会費請求書同封
- 8 月 22 日 第 3 回簡易懸濁法 Web 実技セミナー 担当: 奥石 徹幹事
- 9 月 30 日 簡易懸濁法認定薬剤師・指導薬剤師 新規・更新 申請締切
- 10 月 3 日 第 2 回日本服薬支援研究会/第 14 回簡易懸濁法研究会 学術講演会・総会
大会長 石田志朗幹事、実行委員長 天野 学幹事、
ZoomによるWeb開催 14:00～16:00 特別講演、一般講演、総会
- 10 月 日本服薬支援研究会HP、簡易懸濁可否情報共有システムデータ更新
(内服薬経管投与ハンドブック第 4 版へ更新)
- 11 月 3 日 簡易懸濁法 指導薬剤師 Web 試験(1)
- 11 月 7 日 簡易懸濁法 認定薬剤師 Web 試験
- 11 月 23 日 簡易懸濁法 指導薬剤師 Web 試験(2)
- 12 月 簡易懸濁法 認定薬剤師・指導薬剤師 Web 試験 合格発表

2022 年

- 1 月 日本服薬支援研究会会誌 Vol. 9, No. 2 発行
- 1 月 平日夜 医療安全部会 Web 講演会 講師 新井克明先生(大洗海岸病院)
- 2 月 第 4 回簡易懸濁法 Web 実技セミナー 担当: 秋山滋男幹事
- 3 月 部会 Web 講演会 日程・講師未定
- 4 月 研究会会員の新しい管理システムを導入予定
- 5 月 第 5 回簡易懸濁法 Web 実技セミナー 担当: 近藤幸男幹事
- 6 月 部会 Web 講演会 日程・講師未定

●委員会

＜生涯教育委員会＞→＜簡易懸濁法認定制度委員会＞に変更

[I] 簡易懸濁法認定制度の充実

2021 年

- 7 月 簡易懸濁法認定制度ホームページ更新
- 8 月～9 月末 簡易懸濁法認定薬剤師、簡易懸濁法指導薬剤師の募集(新規・更新)
- 10 月 書類審査
- 11 月 簡易懸濁法認定薬剤師 Web 試験
簡易懸濁法指導薬剤師 Web 実技試験
認定試験判定と可否通知、更新判定と通知、認定証発送

2022 年

- 2 月～6 月 簡易懸濁法認定制度の充実(HP 更新を含む)に向けた検討・整備

[Ⅱ] 認定指導薬剤師の育成

簡易懸濁法 Web 実技セミナー実施時には認定薬剤師研修を行う(3～4 回/年)

<実技セミナー検討委員会>

活動目的 質の高い Web 実技セミナーを確立し、評価・改善を検討する。

活動目標 現在の Web 実技セミナーの評価・ブラッシュアップの実施

より発展的な内容の Web 実技セミナーの検討

アクションプラン

[Ⅰ] Web 実技セミナーの評価・ブラッシュアップ

- ・参加者のアンケート結果を精査

- ・セミナーの所要時間、実施内容、事前準備方法等について Web 会議を開催し、評価を行う。

[Ⅱ] アドバンスド簡易懸濁法 Web 実技セミナーの検討

- ・実施内容(形式)、所要時間、参加対象、ファシリテータの養成などについて、Web 会議を実施し、検討していく。

<広報部会誌委員会>

[Ⅰ] 2021 年度研究会会誌 Vol. 9, No. 1を2021 年 8 月に発行

[Ⅱ] 次回のVol. 9, No. 2 は1 月もしくは2 月発行を予定

会誌の編集、校正は研究会幹事が担当していたが、印刷会社に依頼することを予定

[Ⅲ] 服薬支援研究会の論文投稿について

服薬支援に関する論文を広く公募、服薬支援研究会会員に対してメールにて投稿を依頼。

<HP委員会>

[Ⅰ] 簡易懸濁可否情報共有システムデータ更新 2021 年 10 月

書籍情報が経管投与ハンドブック第 4 版掲載データに更新

<総務委員会>

[Ⅰ] 一般社団法人、全国薬剤師・在宅療養支援連絡会(J-HOP)との連携の準備

- 1) 簡易懸濁法実技セミナーおよび講演会等の会員への広報

- 2) J-HOPの地域ブロックにおける簡易懸濁法実技セミナーの実施

[Ⅱ] 簡易懸濁法マニュアル第 2 版、じほう社、10 月 1 日販売開始、会員特典販売(割引販売)

●部 会

<運動障害>

薬を包装から取り出す際や使用する際に、片麻痺、パーキンソン病、関節リウマチなどによる障害や、抗がん薬による爪囲炎等に伴う障害による服薬困難・使用困難に対して、その障害に合せた支援について、ツールの開発を含め行うため、令和 3 年度については以下の事業について実施する。

[Ⅰ] 運動機能障害に対する服薬支援の現状について把握するための会員に向けた調査の実施

〔Ⅱ〕 上市されている服薬支援に関するツールを把握するための調査

〔Ⅲ〕 運動機能障害と服薬支援に関する部門研修会の開催 (WEB 形式)

これらの現状調査を行うことにより、運動障害による患者の服薬困難に対する薬剤師の関心を高める。

<医療安全部会>

〔Ⅰ〕 PMDA や厚労省から発出された医薬品や服薬に関する情報について定期的に (1 か月に 1 回) 確認を行い、部会内で重要であると判断した場合には、研究会のメーリングリストで情報共有する。

〔Ⅱ〕 部会講演会「服薬支援に関連する内容」講師:2021年度 新井先生、2022 年度 寺町先生

<摂食嚥下障害>

〔Ⅰ〕 本部会講演会「服薬補助ゼリー等に関連する内容」 計画中

<小 児>

目的 乳幼児における薬剤の経管投与時の課題抽出と解決方法の検討

目標 乳幼児におけるチューブ通過性試験条件の確立

乳幼児におけるチューブ閉塞の要因解析と閉塞防止方法の検討

アクションプラン

〔Ⅰ〕 コアメンバーの招集

熊木、原田の他、現場の薬剤師として 4 名のメンバーに打診予定

必要に応じて随時追加予定

〔Ⅱ〕 コアメンバーによる検討計画の立案

1) 特性要因図 (フィッシュボーン分析) の作成

2) フォーカスグループで議論すべき課題の整理

〔Ⅲ〕 フォーカスグループによるグループ討議

実際に投薬に携わる看護師・家族の方を募集 (15 名程度:1 グループ 5 名×3 グループ) し、ブレインストーミングを実施、KJ 法で分析予定

〔Ⅳ〕 チューブ通過性試験およびチューブ閉塞時の理化学試験条件の確立

1) 経鼻チューブ通過性試験 (服薬支援研究会の有志)

2) 実際の条件を考慮した試験 (昭和大薬剤学部門) → 弁、酸、相互作用の影響

〔Ⅴ〕 アウトプット

1) 研究会総会および会誌での報告

2) 経管投与ハンドブック第 5 版への掲載

3) 学術雑誌への論文投稿

<がんケア>

〔Ⅰ〕 会誌や Web 講習会などを通じて情報発信を行う

内容 1) がんサバイバーが行うコロナ禍を過ごす工夫

2) がん末期の患者さんの口臭対策

- 3) 抗がん剤により生じる不快な副作用症状(末梢神経障害、手足症候群、脱毛、味覚障害など)についての予防法、対策法、シャンプーの選び方
- 4) 内服抗がん剤などハザードスドラッグスによる汚染状況と曝露対策

<健康長寿(未病・予防)>

[I] 会誌や Web 講習会などを通じて情報発信を行う

内容 1) コロナ禍における健康長寿のための未病・予防について

2021年度 日本服薬支援研究会 収支予算(案)

(2021年7月1日～2022年6月30日)

【収入の部】

(単位:円)

大科目	勘定科目	2020年度 予 算 額	2020年度 決 算 額	予 実	2021年度 予 算 案	2020年度 予算額との差異	摘 要
会費収入		4,629,000	5,561,000	120.1%	5,296,000	667,000	
	正 会 員 会 費	3,175,000	4,003,000	126.1%	3,790,000	615,000	5000円×758件 ※純増率105%
	学生会員会費	4,000	8,000	200.0%	6,000	2,000	2,000円×3件
	賛助会員会費	1,450,000	1,550,000	106.9%	1,500,000	50,000	50,000円×30口(16団体)
事業収入		660,000	786,000	119.1%	1,590,000	930,000	
	講演会費	180,000	200,000	111.1%	720,000	540,000	【総務部】Web特別講演会2回分／会員100名×1000円×2回=200,000円 【医療安全部会】Web講演会参加費1回分／1,000円×100名=100,000円 【運動障害 部会】Web講演会参加費／1,000円×100名=100,000円 【がんケア 部会】Web講演会参加費／1,000円×100名=100,000円 【小児部会】 Web講演会参加費／ 計 130,000円 ・(会員)参加費 1,000円／名×70名=70,000円 ・(非会員)参加費 2,000円／名×30名=60,000円 【摂食嚥下部会】Web講演会参加費／ 計 90,000円 ・(会員)参加費 1,000円／名×50名=50,000円 ・(非会員)参加費 2,000円／名×20名=40,000円
	学術大会・総会費	0	0		0	0	第2回学術講演会・総会費は【総務部】Web特別講演会で計上
	実技研修会費	425,000	526,000	123.8%	685,000	260,000	・Web実技セミナー／220,000円×3回(8月・2月・5月)=660,000円 ・セミナー資料代／500円×50名=25,000円
	認定事業費	55,000	60,000	109.1%	185,000	130,000	・簡易懸濁法認定薬剤師検定料 (@5,000×8名=40,000円) ・認定薬剤師更新料 (@5,000×10名=50,000円) ・簡易懸濁法認定指導薬剤師検定料 (@10,000×4名=40,000円) ・認定指導薬剤師更新料 (@5,000×11名=55,000円)
その他収入		0	8,777		0	0	
当期収入合計(A)		5,289,000	6,355,777	120.2%	6,886,000	1,597,000	
前期繰越収支差額		5,773,789	5,773,789	100.0%	7,725,554	1,951,765	
収入合計(B)		11,062,789	12,129,566	109.6%	14,611,554	3,548,765	

【支出の部】

(単位:円)

大科目	勘定科目	2020年度 予 算 額	2020年度 決 算 額	予 実	2021年度 予 算 案	2020年度 予算額との差異	摘 要
事業費支出		1,592,290	688,672	43.3%	2,453,670	861,380	
	講演会費	245,640	135,840	55.3%	539,120	293,480	Web講演会／謝礼、日当、Zoom費用、peatix手数料
	学術大会・総会費	30,000	0	0.0%	176,700	146,700	学術講演会・総会(Web開催)／謝礼、日当、Zoom費用、peatix手数料
	実技研修会費	442,650	262,940	59.4%	905,000	462,350	・Web実技セミナー／240,000円×3回(8月・2月・5月)=720,000円 ・セミナー資料代／800円×100名=80,000円
	認定事業費	10,000	25,892	258.9%	128,850	118,850	認定証発行等費用、認定薬剤師・指導薬剤師Web試験／労務提供費
	簡易懸濁可否情報 共有システム保守費	264,000	264,000	100.0%	264,000	0	簡易懸濁可否情報共有システム保守費:2,2000円(税込)／月×12カ月分
	ホームページ改修費用	600,000	0	0.0%	440,000	-160,000	経管投与ハンドブック第4版データ更新費用
管理費支出		3,700,840	2,953,560	79.8%	4,440,500	739,660	
	幹事会・委員会費	650,000	438,570	67.5%	464,000	-186,000	・Web幹事会(20名参加×12回) ・Zoom年間契約料(幹事会、講演会用) ・委員会等web会議開催費用
	事務消耗品費	535,000	466,353	87.2%	714,000	179,000	会報作成費用(2回)、発送用封筒購入費
	通信費	618,840	318,613	51.5%	202,000	-416,840	印刷、郵送費、発送費用
	人件費	1,737,000	1,593,103	91.7%	2,964,500	1,227,500	アクセライト社業務委託費用、税理士事務所委託費用
	租税公課	30,000	47,523	158.4%	0	-30,000	源泉徴収税
	原稿料	30,000	5,000	16.7%	20,000	-10,000	原稿執筆料(図書券)
	雑費	100,000	84,398	84.4%	76,000	-24,000	振込手数料、共有システム表彰費(図書カード)
予備費	予備費	2,100,000	761,780	36.3%	1,150,780	-949,220	・「調剤と情報」別冊購入費(12回分) ・「経管投与ハンドブック第2版」特別割引半額負担費(200冊分) ・(仮称)会員管理および事務サポートシステムの導入費
その他支出		0	0		0	0	
当期支出合計(C)		7,393,130	4,404,012	59.6%	8,044,950	651,820	
当期収支差額(A)－(C)		-2,104,130	1,951,765		-1,158,950	945,180	
次期繰越収支差額(B)－(C)		3,669,659	7,725,554	210.5%	6,566,604	2,896,945	

2. 簡易懸濁可否情報共有システム新規登録者表彰

1 位 17 件 五十君 篤哉 先生 (医) 尚仁会真栄病院

2 位 13 件 大島 良康 先生 神戸徳洲会病院

3 位 2 件 梶 愛一朗 先生 北海道医療センター

〃 2 件 輿石 徹 先生 東京医科大学 八王子医療センター